

令和7年度 第25回みやぎの区民活動表彰 受賞者一覧(五十音順)

【個人の部】(敬称略)

	受賞者	活動内容・活動の功績等
1	ウツミ マキ 内海 真希	平成28年4月から環境部として尽力し、公園の草取り奉仕作業を町内会員に呼びかけ交流を図っている。核家族が多いなか、若い世代にも交流の大切さを伝えているほか、長い間地域の世話役でありリーダーとして町内会を牽引している。
2	オノ マサル 小野 勝	町内会内外にて新年度や長期休み明けの小学校登校時の見守りと交通安全指導を行い、児童や保護者が安心して通学できる環境を支えている。また、堤防の草刈り作業などを通して、危険箇所を根絶し見通しの良い住環境に努め、安全安心な住みよい町内会の礎を構築している。
3	カンノ タカオ 菅野 孝雄	11年間に渡り、毎月、町内会エリアを中心とした夜間パトロールを行うなど、地域の安全確保に寄与した。地域のスポーツチームや町内会活動、安全活動に携わり、老若男女が「住みよい街・明るい街・元気な街」づくりに大きく貢献している。
4	クボキ ジュンコ 久保木 潤子	仙台市地域防災リーダー(SBL)として、西山地域防災訓練で指揮を執るほか、避難所開設の際には避難者へ朝まで声がけをして不安軽減に努めた。西山地域の活動において老若男女問わず積極的にコミュニケーションを取り、安心で安全な楽しいまちづくりに貢献している。
5	ゴウケ ショウジ 郷家 秀二	高砂商工振興会入会以来、フリーマーケットや夏祭りの運営等を通して、長年に渡り同会と地域・学校との交流や連携の橋渡しに取り組み、非常に密なコミュニティの結成に貢献した。また、コロナ禍では割増商品券を導入して会員事業所のサポートを行い、地域経済の活性化を図った。
6	サワダ ユミコ 沢田 由美子	町内の高齢者が体操や茶話会を通じて健康づくりをする「ふれあいサークル」のインストラクターを長年務めるほか、宮城野地区女性防火クラブ協議会役員として防災訓練のサポートや啓発活動を行った。町内外に留まらず、高齢者の孤立化防止や安全・安心な地域づくりに貢献している。
7	タカサワ ケイコ 高澤 啓子	民生委員・児童委員と協力して町内の高齢者の見守り活動をするほか、カラオケや人形作りなどのサークル活動を企画し、地域住民の交流の場を生み出している。また、慶事には記念品を個別に手渡しして顔の見える関係を構築するなど、地域交流の促進に尽力している。
8	タダノ ユリ 唯野 有里	地域に若年層が増える中、町内会の広報担当として回覧板が機能するよう積極的に呼びかけをするほか、掲示板を常に美しく最新の状態に保つように維持・管理している。地域の若年層と高齢者を繋ぐ存在であり、今後も地域活動を盛り上げることが期待される。
9	チバ ヨシハル 千葉 義治	週3回、宮城野小学校下校時に通学路で見守りをし、「ジャンケンおじさん」としてこどもたちに慕われている。地域の防犯・交通事故防止に貢献しており、今後の活動も期待される。
10	ナカツガワ コウゾウ 中津川 幸三	町内会の一人暮らしの高齢者を毎月訪問し、相談相手になって生活のサポートをしている。そのほか、公園の手入れや小学校登校時の見守りをするなど、安心して快適な地域づくりに貢献している。
11	フジムラ サトル 藤村 悟	仙台市地域防災リーダー(SBL)として地域住民を先導し、防災活動に尽力している。災害時の住民の生活維持に不可欠な発電機のメンテナンスも担っており、今後も防災面での地域への貢献が期待される。
12	ヤナイ ユリ 矢内 より子	清水沼公園内の花壇のデザインを毎年考案し、毎日欠かさず手入れをして公園の美しい景観づくりに尽力している。活動は地域の交流の場にもなっており、多くの住民たちに癒しと感動を与えた功績は大きい。

【団体の部】(敬称略)

	受賞団体	活動内容・活動の功績等
1	ジユウガオカ 自由ヶ丘 ボランティア	町内会の夏祭りや防災訓練等、各種行事に参加して活気づけるほか、集会所内外の定期清掃等、環境美化に取り組んでいる。また、長年に渡り安養寺社会福祉協議会が主催する「ふれあいいきいきサロン」のサポートに携わり、地域行事を支える存在として交流促進と活性化に大きく貢献している。
2	スナオンチヨウナイカイ 砂押町内会 ジョセイボウカ 女性防火クラブ	積極的な情報収集や消防署との連絡体制強化等、防災活動に取り組んでいる。仙台市地域防災リーダー(SBL)の育成にも力をいれ、啓発・激励を行い、資格の取得を促している。防災活動だけでなく、登校時の見守りや交通安全指導を通して、安心安全な町内会の礎を構築している。
3	センノウジマエチヨウナイカイ 善應寺前町内会 ジョセイボウカ 女性防火クラブ	鶴ヶ谷消防管内では早い時期に結成され、消防や地域住民と協力して、防火の呼びかけや消火訓練を実施している。また、全世帯に赤いバケツを配布して防火意識を強めており、町内の火災防止に大きく貢献している。
4	デンショウ オカ なかの伝承の丘 ホゾンカイ 保存会	令和6年3月に開館した「蒲生なかの郷愁館」の運営をはじめ、なかの伝承の丘及び日和山において、慰霊祭や清掃活動等の地域行事を継続的に実施している。イベントを通じて防災集団移転をした元住民の交流が促進され、地域コミュニティが維持されている。今後も思い出の地での交流が継続されることで、大震災の教訓が次世代へ受け継がれることが期待される。
5	ヒガシオオドリ 東大通 にっこりクラブ	月に2回、地域住民を募って軽体操や歌、ゲームをして孤独な高齢者を減らす手助けをしている。高齢者が明るく楽しく過ごせるように、地域と連携しながら健康づくり・生き甲斐づくり・仲間づくりに貢献している。
6	ミヤギノハラ 宮城野原 アンナイニン カイ 案内人の会	原町から宮城野原のまち歩きガイドや、仙石線の踏切跡への名板設置活動により、地域への関心と新たな魅力への再発見、および生活文化の保存に取り組んでいる。地域の歴史・文化を語り継ぐことで、あらゆる世代の地域への愛着と誇りを育み、地域活動や交流の活性化に貢献している。